

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	心のデトックスpart2～人口560人の村が仕掛ける新しいコミュニティデザイン～
事業主体 (連絡先)	売木村 0260-28-2311
事業区分	(1)地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,944,550 円

事業内容

「都会と田舎をつなぐ！企業連携心のデトックス事業」の2ndステージ。初年度、都会から招聘した若者の拠点づくりとして、空き家の改修を実施し、さらに本年度は“環境循環型モデルハウス”として発展させ、さらに周辺の田畑や山の整備を実施し、昔から村の方が実践してきた「自然と共存する暮らし方」を蘇らせ、体験してもらうことを目的に企画を実施した。また、デトックスハウスのある長下(ながしも)地区の村民の方と協働して村民の方に体験の講師をしてもらい体験ワークショップを開催し、都会の若者と村民との協働で小さな村が仕掛ける新たなコミュニティデザインを目指した。

事業効果

- ①5月～12月にかけて全9回、1泊2日で売木村での体験ワークショップを実施し、計122名の交流人口が創出できた。また、参加者の中から移住就農希望の若者が3名現れた。
- ②村民を講師とした体験ワークショップを行うことにより、都会の若者と村民との新たなコミュニケーションが生まれ、過疎化の進む長下地区から村全体の活性化に繋がった。
- ③SNSを活用した発信、東京でのPR活動を通して、都会で働きながら地域と繋がりたい方や循環型暮らしに興味のある層にダイレクトにPRを行うことができた。実際に参加した約25名の中から数名が次年度以降の体験ワークショップへの参加表明を示した。
- ④「移・食・住」の循環型の暮らしの体験ができる環境が整い、今後さらに移住・定住のお試し体験をより広く実施できることとなり、事業4年目となる2020年の独立化を目指し、若者のUターン、雇用創出等による移住定住促進を波及させる基盤が構築された。

今後の取り組み

3年目となる2019年度は、2020年度の独立運営に向け「環境循環型モデルハウス」としてソフト面ハード面ともにワークショップ等イベントを通してさらなる磨きをかけ、PR活動を現地での活動の他、東京や媒体上でも積極的に行うことで環境循環型のライフスタイル志向の都会の若者や企業を積極的に誘致する。また、引き続き地域住民を巻き込んだ取組を行い、本拠点を中心に地域住民と協力して「環境循環型モデル地域」の構築を目指す。以上を通し、本事業を持続可能にするために、売木村と都会を繋ぎ、売木村にて事業を創出、推進していく個人、企業誘致を図ることを目的とする。



【日干し煉瓦作りワークショップの様子】

【目標・ねらい】

- ①環境循環型モデルハウスを目指しパーマカルチャーワークショップを通して交流人口100名以上を創出する。
- ②村民を講師とした体験を行い、都会の若者と村民との新たなコミュニティを創出する。
- ③SNSや東京でのPR活動を通して新たな層へ新たな試みで情報提供を行う。
- ④環境循環型モデルハウスの構築により若者のUターン、雇用創出による移住定住を促進する。

※自己評価【B】**【理由】**

目標であった交流人口100名を上回る122名の参加があり、また参加者の中から移住(就農)希望者も現れ予想以上の結果となった。当初予定していた屋根の改修が災害のためやむを得なく実施できなくなり計画を変更をするに至った。